

事業所名	放課後等デイサービス ジムズキッズ		公表日	2026年 5月 20日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・ゆったりとした広いスペースで適切と考えています。	・学習スペースと遊ぶスペースを仕切るべきか否か、検討中です。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・下校時刻が重なり、学校へのお迎えの際に時間に間に合わない時は、事前に学校への連絡をしています。	・今後も職員の配置数が適正であるよう、遵守します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・ピクトグラムなどでわかりやすい環境づくりをしています。 ・片付けBOXには収納されている物の写真を貼って分かりやすくしています。 ・イヤーマフを配置し、音が苦手な児童に対応しています。	・階段はありますがエレベーターはないため、玄関も含めてバリアフリーではありませんが、必要となればマットを敷くなどして対応をします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・適切な換気を行っています。 ・毎日の掃除で清潔に過ごせるように心がけています。	・空気清浄機を設置しています。 ・毎日の掃除に加え、アルコール消毒をしています。 ・今後も継続してまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・落ち着くことやクールダウンのため、ミニテントを使用しています。	・家屋の構造上、個別の部屋をつくることは難しいが、落ち着けるスペースを確保できるよう検討中です。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・定期的に会議をし、情報共有をしています。 ・定期的に話し合いながら、向上心を持って業務に取り組んでいます。	・今後も継続してまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・評価表の集計後、会議をし、情報共有や改善に努めています。 ・保護者の意向は面談時にも良く聞いています。	・今後も継続してまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・定期的に会議をし、情報共有をしています。 ・普段から職員間で話しやすい環境であり、業務改善につながっています。 ・店舗会議を随時行っている。そのため意見の意見の交換をし、療育へ役立てています。	・今後も継続してまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・行っています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・入職して自身が研修を受講させてもらったので、確保されていると思います。 ・強度行動障害の研修や、動画視聴で研修を行っています。 ・オンライン研修も利用しています。	・毎月、何らかの研修を行っていますが、今後も継続してまいります。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・定期的に個別にできていると思います。 ・適切に作成・公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・モニタリングを行い、子どもと保護者のニーズや課題に沿った計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・定期的に会議をし、情報共有・意見交換をしています。 ・支援に関わる職員の意見を聞き、作成しています。	

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	・会議で職員に情報を共有しています。 ・定期的に会議をし、情報共有・意見交換をしています。 ・支援計画は職員に共有し、計画に沿った支援をしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	・必要な項目を適切に設定し、具体的な支援計画を立てています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	・月々で内容について職員間で決定しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・偏りがないように行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	・個別・集団活動を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・今後も職員間の支援の打ち合わせをしていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・その日起こったこと、対応、気付いたこと、伝えあうようにしています。	・今後も継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・支援への対応について、アドバイスやプランがハッキリとしています。 ・日々、気づいたことを記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・定期的に行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○	・行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	・日常の些細な事から自己決定ができるようにしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・整っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	・学校との情報共有をしています。	・特別支援学級以外に所属しているお子さんの担任の先生とも交流も図りたいです。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・相談支援員さんを介して情報を提供しました。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・連携はとっていますが、スーパーバイズ、助言、研修等はありませんでした。今後、検討いたします。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・外出先での一時的な交流はありますが、定期的な交流はないので、今後、増やしていければと考えています。	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		○		・今後検討をします。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時や携帯電話で日々の様子をお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			・ペアレント・トレーニングや研修は行っていませんが、情報提供は行っています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		・今後検討をします。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・地域の方を招待するイベントは行っていませんが、地域の方々との交流は図るようにしています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・定期的に集団活動の一環として防災についての時間をもち、実際に避難場所まで行くなどの訓練をしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・モニタリング時のアセスメントシートに記載されていることを保護者と確認。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			医師の指示書を直接頂いてはませんが、保護者の方からの指示に従っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			